

# 下水高度処理拡大 埼玉県



高度処理とは下水に混じっている農薬に含まれているリンや、汚物の中の窒素分を取り除く技術で、沈殿、攪拌といった通常処理に加え、薬剤を入れてリンを除去する方法です。また窒素は、空気を吹き込む過程と吹き込まない過程を繰り返すことで、微生物の働きを活発にして分解します。さらに砂などを使つたろ過装置を通し、消毒してから排水します。

埼玉県は 2002 年の下水道整備総合計画により、荒川系と中川系の全ての処理場に高度処理を導入する方針を決定しました。本年度は中川処理センター(三郷市)で施設が完成しました。さらに荒川系の 2 処理場でも整備を進めています。

荒川や中川が流れ込む東京湾では、リンや窒素による水の富栄養化が進み、赤潮被害が発生しています。国は都道府県に高度処理の普及を呼びかけ、被害の減少に務めています。

国土交通省関東地方整備局の 2003 年度まとめによると、高度処理の普及率は東京都 11.7%、千葉県 13.3%、神奈川県 7.2%などですが埼玉県は、わずか 1.0%にとどまっています。通常でも処理場の建設費用は100億円超。高度処理となると「さらに割高になる」(県下水道課)点が障害になっています。県は既存の処理施設はそのままにし、増設する場合のみ高度処理に切り替えていくとしています。

また県は、下水処理をさいたま新都心のトイレ用水に回すなど、再利用の取り組みなどを進めています。県下水道課は「普及率が70%台にのり、ある程度は下水道が広まったと言える。今後は処理水質の改善など、質の向上も目指していきたい」としています。

資料:2004 年 11 月 28 日付 P.1 埼玉新聞

生活環境箇所 重田 郁美

事業内容

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析  | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明   | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定     |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理       |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査  | 8 委託試験・研究・開発          |

